

三樹会泌尿器科

体外衝撃波結石

破碎装置を更新

白石区の三樹会泌尿器科病院（佐藤嘉一理事長・99床）は、体外衝撃波結石破碎装置を更新した。

従来機と比べて、全ての症例に対して仰臥位での治療が可能になった。治療ヘッドの可動域が広くなり、焦点深度も最大170㎜まで伸長したことで、これまで困難だった肥満症例や、深部の尿管結石も治療できる。

さらに、特殊な画像処理を行うことで、従来より鮮明な画像で結石を確認できるなど、患者の負担軽減が特徴だ。